



校長 齊木 邦彦

## 「がんばれ！西高生」「くじけるな！西高生」

学校は失敗を恐れず、いろいろなことに挑戦していいところです。できた、できなかったという結果はどうでもいい、とまでは言いませんが、もっと大事なことは、まずやってみること、試してみることです。その中で自分の知らない力が自分にあることに気づく、このことは自分の知らない自分というものを尊重することにつながります。

科学的な考え方というものが進んできて、人が毎日生きていくことをいろいろな種類の力を使って生きていくと分析し、それぞれの力を育てることが求められています。そこに目標と評価ということが強調されて言われるようになりました。目標に向かって歩む人生、そしてその歩みを確かなものにするために評価する、という捉え方です。

目標を持つことは大事ですが、あまり目標を意識しすぎると、目標になかなか近づけない自分に苛立ち、我慢して地道に継続していくべきところを、次々とやり方を変えてみたり、この目標は無理だと早々と諦めてしまったり、もったいないことです。

評価については一面的な評価でなく多面的、総合的な評価が望まし

いとされますが、あまり行き過ぎるのも考えものです。私は校長としての評価で、たとえば生徒や先生に対する優しさが足りない、と指摘されたら、そうできるよう努力するでしょうが、総合的な評価で低い評価をもたらしたら、努力する前に倒れて寝込んでしまいそうです。

日々の取り組みを充実させるための目標や評価が、それを意識しすぎると、本来の精一杯生きるという自然で簡単なことが妨げられてしまうのです。目標や評価にとらわれず、受験勉強においても無心で取り組んで行った先に大学合格という結果が「たまたま」待っていた、そういうきわめて自然な本来の時間の流れが理想だと思います。

暑い夏が終わり、めっきり秋らしくなってきました。小学生が運動会で運動場を元気に走り回るのを見て「あの頃はよかった、ところが今は・・・」なんて思わないでください。皆さんにとっては、今、高校生である今が一番いい時だと私は思います。

今はつらいけど大学生になったら明るい未来が開ける、と思うことはあるかもしれませんが、でも大学生になってからのことはその時楽しめばいい、今は高校生としての時間を味わってほしいと思います。受験勉強に打ち込んでいる3年生の皆さん、受験生としての生活に没頭してください。人生は常に今が一番、今が一番いい時なのです。

(後期始業式でのあいさつより)

## 復興ボランティアに参加して～甲府西高吹奏楽部～

吹奏楽部は8月3日に、山梨県代表として「みやぎ総文」に参加しました。その演奏翌日に、ボランティアとして仙台市荒浜地区の清掃活動を行った後、震災遺構となった荒浜小学校の見学をしました。



### 「海岸清掃ボランティア」に参加して

今回、初めて被災地を訪れ、テレビで見るより何倍も、当時の状況がはっきりと思い浮かべられました。まばらに立っている松の木、基礎しか残っていない家の跡、誰もいない平らな土地など、荒浜を襲った津波の大きさを目の当たりにしました。同じ日本に住んでいるのに、こんなにも震災のことを知らなかったのだと悲しく思いました。

荒浜小学校も見学させていただき、もし自分がこのような状況に陥ったらと、とても心が痛みました。荒浜の人達の心を全て知ることができたわけではないけれど、忘れてはいけないこの痛みを感じることができたのは、私たちにとってもプラスになることであり、もっとたくさんの人に知ってもらいたいと思いました。震災が起こってから、今まで何一つ被災地のために何かをすることはできなかったのですが、今回、少しでも困っている人の助けになることができ、嬉しかったです。

これから私たちにできるのは、まず震災についてもっと知ること、それを忘れないことだと思います。そして、私たちが毎日生きて、普通の生活をして、吹奏楽ができるのは、当たり前ではないのだということに自覚し、感謝の気持ちを忘れずに生きていきたいと思いました。

2年 船井星南(御坂中)

## 美術部 第43回UTY教育美術展 文部科学大臣賞受賞

引退前最後の作品で受賞できたことをとても嬉しく思います。この絵のモデルは三年間過ごした美術室です。タイトルの「淘汰」の本来の意味は「適切なものを以外を除き去る」ですが、これを肯定的に捉えたとき、「美術部として過ごす中で、自分の本当にやりたいことが分かっていった」という絵のコンセプトとの重なりを感じ、タイトルを「淘汰」としました。中学生の皆さんが西高という場所で自分のやりたいことと出会えるよう応援しています。

3年 鈴木紗英子(山梨大附属中)



Kofu Nishi High School

山梨県立甲府西高等学校

〒400-0064 山梨県甲府市下飯田4丁目1-1  
TEL:055-228-5161 FAX:055-228-5164  
URL <http://www.nishi.kai.ed.jp/>

発行日/2017.10 編集/広報委員会



\*stage /steɪdʒ/

[[立っている場所]が原義] — ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

- 1 舞台、ステージ(◆世界の象徴)
- 2 [活動の]舞台、場所[for, of]
- 3 (発達・発展などの)段階、時期

用例) 1 N-stage 西高生の時代(時期)  
2 N-stage 西高生の活動舞台

vol.51

2017.10 甲府西高情報誌

西高のステージへ!

nstage  
山梨県立甲府西高等学校  
Kofu Nishi High School

自分を信じる

